

平成 28 年度第 1 回下田市総合教育会議 会議録

平成 28 年 4 月 27 日 (水) 15 時 30 分 平成 28 年度第 1 回下田市総合教育会議を下田市立中央公民館大会議室で開催した。

出席者は次のとおりである。

(委員)	(事務局)		
市長	楠山 俊介	総務課長	稲葉 一三雄
教育長	佐々木 文夫	学校教育課長	峯岸 勉
教育委員	田中とし子	生涯学習課長	河井 長美
教育委員	渡邊 亮治	学校教育課参事	山梨 弘樹
教育委員	土屋 康宣	学校教育課長補佐兼学校教育係長	吉田 康敏
教育委員	天野 美香	総務課長補佐兼庶務係長	佐藤 政年
		総務課主事	仁村 悠斗

1. 総務課長 15 時 30 分開会を宣す。

2. 議事

(1) 経過報告

総務課長から資料に基づき説明

特に質疑なし

(2) 学校再編アンケートの分析結果について

学校教育課長から資料 1 に基づき説明

総務課長 教育委員の皆さんを含めて意見をお願いします。

土屋委員 このアンケートを見ますと、片方に意見がまとまるということではなく、いつの時点でアンケートを取っても結果的には同じと思われます。保護者の皆さん、あるいは現場に携わっている先生の皆さんからこのようなアンケート結果が出ましたので、次のステップに移っていくという形でいいのかなと思っています。総合教育会議で流れを先に決めてしまうというのも一つの方法なのではないかなと思います。今までの 4 回の会議の中で、私は稲生沢と稲梓を統合しようと言ってきました。しかし、稲生沢と稲梓を統合したとしてもいずれ単学級となり、数年すると東中学校が同じ状況になることが見込まれることがわかりました。一回統合すると稲生沢か稲梓どちらかの学校の校歌になるということ、制服も変わってくるというようなこともあります。またそこから 2 年たつてすぐ統合ですとなると、子供たちに非常に負担が大きいということで、それで

は一校化に持っていくのがいいのかなということで前回の総合教育会議でまとまったと思っていたのですが、そうではありませんでしたか。私はその時そう解釈していました。今の説明ですと、また後戻りになる可能性もあるわけですね。

総務課長 第4回会議でアンケートの結果についての説明がされています。その時皆さんからは、このアンケートの結果を見ると「一校化する」と「段階を踏む」とで意見が拮抗しているので、この総合教育会議ですぐ結果を出すことは難しい。「どちらとも言えない」とする意見についてしっかり分析することが課題であるにとらえており、第4回会議ではどちらかに絞り込んだということではなかったと思います。

田中委員 そのように理解しています。

峯岸課長 手元に会議録があるのですが、どちらの意見が多いからそちらに行こうという問題でもないし、もう一度アンケートを整理し、作業部会的なところで議論してから解決方法を導いていかなければならないということになったと思います。前回の教育会議で一校化でいこうということになったということではないと考えています。

総務課長 方針を示さないと議論していただくのが難しいのではないかという意見と、初めから結論を示したうえで進めると押し付けととらえられるのではないかという慎重な意見がありました。

教育長 ただアンケート結果を見て、どちらで行こうというわけにもいかないと思います。ましてやその意見が拮抗しているとなると、一度アンケートの意見を整理したうえで議論をしていただき、方向を決めていかなければなりません。総合教育会議だけでは結論に至らないと思います。

天野委員 今までの会議でアンケート結果を見てきました。保護者の皆様の意見はほぼ一緒なのですが、私は統合にしても一校化にしてもまずデメリットの部分、反対の意見となっている交通や交通費の問題、個人で負担するのかなどなのか、そういったデメリットの部分に対してもう少し解決策をまとめていきながら話を進めていくのが一番いいのではないかと思います。

渡邊委員 教育委員会の方から、最初から一校化とするのではなく、丁寧に何回も、できる限り地域の方々からの意見を聞く回数を増やして、押しつけにならないようにしながら進めるのがよいと思います。

田中委員 統合について「どちらとも言えない」という方々が、こういう問題があるがそれが解決できるのであれば統合でいいのではないかと、問題点が解決できるのであれば考えも変わることがあると思います。通学路の問題と学校の文化伝統の継続の問題、この2点が大きな問題としてあると思いました。結論としては統合することについて致し方ないというふうに考えていらっしゃるのではないかなと思います。それから、一校化か段階的な統合かという問いの中で、子供の負担がどうなのかという意見が出ています。子供にとっての負担がどうなのかを危惧している保護者の方が多いのではないかなと思います。

一校化か段階を踏んで統合するのについて決めるのは、総合教育会議で決めるのですよね。

総務課長 総合教育会議は、大綱の策定の他に、教育、文化の振興を図るうえで重要な問題について協議を行うこととされています。学校再編については、教育委員会、総合教育会議、政策会議とが連携しながら進めていきますが、重要案件ですので最終的には総合教育会議で決定していく案件と考えます。

田中委員 後ほど説明があると思いますが、総合教育会議、学校等再編方針検討会、庁内プロジェクトチームと調整を取りながら進めていって欲しいと思います。

教育長 保護者のアンケートの「どちらとも言えない」を分析してみたのですが、「どちらとも言えない」の中の再編は避けられないという意見は、数字的には120件くらいあります。その理由を見ていきますと、不安に感じている点として、やはり通学関係が非常に多かったと思います。先ほどの説明にもありました文化伝統の継続の問題を含め、クリアしないと賛成は得られません。全てをクリアすることは難しいかもしれませんが、小規模校のメリットと大規模校のメリットを比較しながら反対意見の方に説明していくと、全ては解決できなくてもある程度のところまでは理解していただけるのではと思います。特に「どちらとも言えない」の中の「その他」の部分が多かったわけですが、その中には小規模校のメリット、デメリットがよくわからない、説明がされていないというような意見が多かったと思います。

今後どのように話を進めていくかについて話し合う中で、通学については市が負担できるのか、マイクロバスあるいはスクールバスを出すことができるのか、それには予算が関連しますので、財政面の検討も必要だと思います。庁内プロジェクトチームにおいて問題点を解決していく中で、方

向性を決めていく方法がいいのではないかと思います。

市長

この会議の一委員として言わせていただきます。統合に対しての「反対」あるいは、「どちらとも言えない」の中で一番多くを占めているのは通学の関係です。いつもいつも通学はどうなるのかという質問が出て、それに答えられないということであれば、「反対」あるいは「どちらとも言えない」と回答されている人の多くに答えを出せません。私は積み上げ方式で進めるよりはある程度提示をしていかないと話は進んでいかないのかなと思います。

学習環境についても、賛成をする人は人数が多くなるのは良しと捉え、「反対」の人は小規模校から大規模校になった時のことを不安に思うというのは捉え方の問題です。メンタルケアなどきちんと整備し不安に対応しうる教育環境を作るべきだと思います。そういう意味からすると私としては、統合賛成の意見が多数と判断するところです。

次に一校化かあるいは段階的に進めるのかという話ですけども、段階的な統合の方が理解を得やすいという言い方がされています。これは誰の理解をとということですが、子供たちの理解とは違うと思います。学校が無くなると地域が減びるのではないのかと考えている方からの理解を得るようしっかりと説明をしていくしかないのではないかと思います。統合するならば一校化の方が、生徒にとっても安定するのではないだろうかという意見があるところを、私としては重要視していきたいと思います。

総務課長

皆様からひととおりアンケートについての意見をお聞きしましたが、誰が見ても通学、交通について問題としている意見が圧倒的に数が多いので、ここの部分について今後検討・対応していくことになると思います。

資料2のほうを私の方で、資料3を学校教育課が説明します。

(3) 学校等再編方針検討会の設置及び今後のスケジュールについて

学校教育課長から資料3に基づき説明

(4) 庁内プロジェクトチームの設置について

総務課長から資料2に基づき説明

※(3)、(4)、一連で説明をした。

総務課長

資料2の組織案、資料3の学校等再編方針検討会設置要綱について、御意見はございますか。資料2の組織で進めることとしてよいのか、また資料3の設置要綱につきましても本日皆様のご承認をいただければと思っております。

土屋委員 学校等再編方針検討会の委員の数を20人としていますが、区長地区会長6人と保護者の代表のPTA会長が11人、17人が教育に携わらない人で、教育に携わる人は校長先生2人と教育長1人だけ。17対3なのでもう少し現場の先生の意見も入っていいと思います。例えば中学校の教頭先生を4人を加えたらどうでしょうか。

一校化でいくメリットをその中で前面に出して、市の方針でこういう形で進めていきたいんだというようなことを前面に出していく形でいいのではないかと思います。振出しに戻ってしまうことを危惧します。そうならないようにしたいと思います。

田中委員 土屋委員の意見と同じですが、一校化若しくは段階的に進めるのかについて決めておいて、その上でどのような課題があるのかを考えたほうがいいのではないかと思います。その方が委員さんも話しやすいと思います。総合教育会議で方向性を決め、これで行きたいんだけどこれに対してどんな課題があるのかということの方針検討会議で検討していただき、庁内プロジェクトではこうですよと答えられるようにすることができればこの組織は素晴らしい組織だと思います。

総務課長 今の話をまとめますと、方針検討会議を開催する前に一校化に決めてもいいのではないかという意見が出ました。一校化とするか若しくは段階的にするかについてを決定する時期について、意見をお聞きたいと思います。

土屋委員は、一校化とすることを、今日決めてもよいというお考えですか。

土屋委員 そうです。

総務課長 田中委員はどうですか。

田中委員 一校化か段階を経てかについては迷うところです。段階を経てという人は心情面を、一校化をとる人はハード面を問題としているように思われます。そこをどう解釈すればよいのか考えているところで結論がでていません。

総務課長 一校化か段階化について決める時期について討論をお願いしたいのですが、天野委員はいかがでしょうか。

天野委員 一校化で進める方向が良いと思いますが、今日決定するというのは難しいと思います。先々一校化とするのであれば、時間をかけてでも一校化の方向に持っていった方がいいのではないかと思います。

渡邊委員 天野さんと同じ意見です。

峯岸課長 総合教育会議が一校化を考えていることを示したうえで、方針検討会議で検討していただくということによいですか。

田中委員 そういうことです。

総務課長 計画では9月までに3回の方針検討会議を開催することとしています。一回目の会議では、アンケート結果などの経過説明を行います。一校化が良いのではないかと考えるけれども、保護者や地区の意見はどうですかということで、意見や質問をくみ取りながらそれを庁内プロジェクトチームで協議するという形で進めていくのかなと思っています。どの段階で一校化を打ち出すのかということですが、教育長はどう思われますか。

教育長 アンケートからは、統合については仕方がないと読み取れます。段階的か一校化かどちらかにするかというところまで話は来ています。どちらかに決め、ある程度具体的な案を出した方が意見をいただきやすいと思います。ただし、一本化を打ち出すには、この総合教育会議でもう少し協議することが必要だと思います。

市長 子供たちの数が少なくなったからという理由で単純に一校化という論理にはしたくないところがあります。これ以上の中学校の統合はないので、4校を一つにして新しい中学校を作るという発想でこの統廃合に臨むべきだと思っています。新しい中学校を作るということになれば、ハード的にもソフト的にもどういうふうに教育環境を作っていくんだということを考えた中で進めていきたいと思っています。このままいったら4校とも必ず老朽化を迎えるので、4校を建て替えるのであれば1つのものを新たに作るという気持ちで統廃合の話はして欲しいと思います。そしてどこで段階的にするか一校化にするかは、積み上げ方式では決まらないのではないかと思います。私としてはどこかで構想を出して、各地域の皆さんにどう思われますかというようなことをしないと、地域の事情とか各保護者の事情を積み上げていったら全く一つにはなっていないのではないかと思います。

総務課長

一校化か段階的かどちらかに決めるに当たり方針検討会議に説明し意見を求め課題をいただき、その解決策を導き出しながら進め、仮に一校化がよいということになれば、次の段階として構想を作ることになると思います。教育会議の会議が、いきなり一校化の方針を示しているのかということについて確認したいです。前回の会議では、方針を打ち出さなければ話が進みにくいと思うけれども、進め方については慎重にという話になったと思います。

今日の会議では一校化でという意見になっていると思いますが、どうでしょうか。

田中委員

私は、一校化についてはまだ決めかねています。なぜ一校化が必要なのか自分自身が説明できなければならぬと思います。まだそれができない状況です。もっとアンケートを読み込んで次回の会議で決めたいと思っています。

総務課長

方針検討会議を立ち上げて、まずアンケート結果を含めた経過説明を行うこととなります。その場で出た意見をいただいてから総合教育会議で協議を行うのか、それとも最初から一校化案に決めたいという意見をいただくのか、どういう手順で進めていくのかについて協議を願いたいと思います。また、一校化案とする場合、どこにするのかなど具体的な構想をいつ出すのかということもあります。

田中委員

どちらかに決まったらそちらに決まりましたと、そしてそのことについての問題点はどのようなことがありますかという聞き方もあると思います。こういうような学校を作りたいんだという説明をきちんとしたうえで、一校化するためには皆さんどんな問題点を持っていますか、どんな心配事がありますかという聞き方もあると思います。

総務課長

一校化の方向で行きたいけれど、皆様どう考えますかという形ですか。また方向については、最終決定はしない形ということですか。

田中委員

こんな学校を作りたいのだけれど、皆様どうですかとざっくばらんに聞くのが良いと思います。

総務課長

皆様が一校化でという意見であれば仕切り直しとし、一校化とする場合にどのようなメリット、デメリット、課題があるのかを研究し概略を説明できる資料を作ったうえで進めていくべきということであれば、次回会議

までに資料を作り直します。

田中委員 私は、その方がよいと思います。

市長 土屋委員のおっしゃるように、何を検討していくかを明確にしないとまた振り出しに戻ると思います。

土屋委員 賛成と反対はどうしてもあること。こういうふうにやっていきたいですと丁寧に説明していくのがよいと思います。

総務課長 皆様の意見を伺いますと、一校化の方針を出して方針検討会に意見を伺うということですので、なぜ一校化が必要なのかという説明がしっかりできるもの、考え方をまとめたものを次回会議で出ささせていただくということによいでしょうか。

教育長 皆様に確認したいのです。議論をしてきましたが、総合教育会議では一本化に決定するというのでしょうか。

田中委員 今日、決めなければいけないでしょうか。

総務課長 決定は、その資料を作り再度協議をしていただいてからとなります。
事務局案では、アンケート結果を踏まえて一校化、段階化の両案について意見をいただくことを考えていましたが、本日の会議ではある程度方向性を示したうえで、方針検討会の意見を伺う方がよいということだと思いますので、改めて資料を作りなおします。

市長 子供の人数のみをもって統合という考えではなく、新しい中学校を作りませんかという考えでいきたい。それを作るためには財政的な面もあるので、ハード的にどうかという論議もしていきたい。きちっとした計画により、きちっとした教育環境整備が必要だと思います。

総務課長 日程を調整し、改めて協議をお願いしたいと思います。

学校教育課参事より資料4に基づき説明

総務課長 それでは意見がないようですので、以上で閉会させていただきます。

3. 総務課長 17時20分に閉会を宣す。